

チェックリスト 台風が接近する数日前まで

項目	チェック項目（点検のポイント）	チェック欄	留意点等
台風襲来前の準備・点検	ハウスの周辺は片付いているか。		・ハウス周辺のもの飛散により被覆材が破損しないよう、しっかりと固定したり、事前に片づけておきましょう。
	しっかりと出入口を戸締りできるよう戸車やレールの外れはないか。また、傷みはないか。		・強風に建具があおられて破損しないようにしておきましょう。 ・ハウス内への風の吹込みを防ぎましょう。
	天窓、サイド、出入り口付近などの隙間はすべてふさいであるか。		・天窓は、浮き上がらないようにワイヤー等で固定する方法もあります。
	被覆材のたるみや破れはないか		・耐用年数を経過した被覆材はより破れる可能性が高いため、破れた部分の補修をしておきましょう。
	被覆材は耐用年数を超えていないか。		・被覆材がバタつくことで破れやすくなるので、緩みがある場合は、しっかりと締めなおしましょう。
	ハウスバンドや被覆材の留め金に緩みはないか。		・バンドで押さえる箇所を増加（間隔を狭く）することも有効です。
	ボルトのナットやブレースに緩みはないか。		
	換気部（サイドや谷）から風が吹き込まない対策はできているか。		・被覆材がめくれて風が吹き込まないように、パッカーやスプリングでしっかりと固定しましょう。
	谷樋、縦樋が落葉やごみで詰まっているか。		
以前被災した箇所はしっかりと修繕してあるか。		・折れたり曲がったりしたパイプは強度が劣るので再利用はやめましょう。	
周辺環境	ハウス周辺の排水対策はできているか。		
	灯油タンク、ガスボンベ等は転倒しないようにしっかりと固定してあるか。		

周辺環境	補修用テープ、ハウズバンド、スプリング等補修用資材は準備してあるか。		・早急に応急修理ができるよう事前に準備しておきましょう。
	風を強く受ける部分の補強対策はしてあるか。(応急対策)		・一時的な対策として、肩部分をワイヤで引っ張ったり、つかえ棒や外部補強金具で補強しましょう。
	排水対策用のポンプはあるか。		・冠水や浸水した場合には、その後の影響を最小限にする必要があります。こうした危険が予想される場合には準備しましょう。
	停電に備えて天窓などを手動で開閉できるようチェーンなどの操作機具は準備してあるか。		・サイド巻き上げや天窓、カーテンは、充電式ドリルで開閉できる場合があります。